

科目分類	専門基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	解剖生理学 I (解剖学)	学 期	前 期	藤田 幸 (医師) 田畑 辰也 (理学療法士) 池内 寛記 (看護師) 日高 美晴 (看護師)
		単 位 数	2	
		時 間 数	60	
目 的 (ねらい)	看護の対象である人間を理解するための基礎的知識となる人体の構造(かたち)を系統的に学ぶ。			
目 標	1. 人体の構成要素(細胞、組織、器官、器官系)の構造について理解する。 2. 人体の構成要素の形態と構造について理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	オリエンテーション	1) 人体の構成要素	講義
	2	循環器系	2) 心臓、血管の構造、全身の動静脈	講義
	3	呼吸器系	3) 上気道、気管、肺	講義
	4	消化器系	4) 口腔、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓	講義
	5	骨格系 1	5) 骨の構造、発生と成長、生理的機能、関節	講義
	6	骨格系 2	6) 人体の骨格(体幹、上肢、下肢、頭頸部)	講義
	7	骨格系 3	7) 骨格筋の構造と作用、全身の骨格筋	講義
	8	解剖見学実習	8) 解剖見学実習	実習
	9	泌尿器系	9) 腎臓の構造と機能、尿管、膀胱、尿道	講義
	10	生殖器系	10) 男性・女性生殖器、男女の生殖機能	講義
	11	中枢神経系	11) 大脳、間脳、中脳、橋、小脳、延髄、脊髄	講義
	12	末梢神経系	12) 脳神経、脊髄神経、自律神経	講義
	13	内分泌系	13) 視床下部-下垂体系、甲状腺、副腎、性腺	講義
	14	感覚器系	14) 感覚器(視覚、聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚、皮膚知覚)、皮膚	講義
	15	人体発生学	15) 受精からヒトの誕生、成長と老化	講義
教 科 書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能① (医学書院)			
参考文献	「カラー人体解剖学、構造と機能：ミクロからマクロまで」井上貴央監訳(西村書店) 「ムーア臨床解剖学」坂井建雄訳(医学書院)			
評価方法	4回に分けて定期試験(100点×4)を行い、4回の平均点を最終評価とする。			
関連科目	解剖生理学Ⅱ、生化学、栄養・代謝学、病理学			
自己学習に関する指針	学習内容が多く、日々の着実な復習が不可欠となる。図譜・模型・自分の身体を用い、立体的に生きている人体について学習すること。			
その他の 通知事項				